

# Viva Kango

No.55

Campus News of Japanese Red Cross Hokkaido College of Nursing

〒090-0011 北海道北見市曙町664番地1 TEL (0157) 66-3311 FAX (0157) 61-3125  
https://www.rchokkaido-cn.ac.jp

発行日/2022年5月1日  
編集・発行/広報委員会



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

日本赤十字北海道看護大学



RCHOKKAIDO

本学は令和3年度も対面講義ならびに臨地実習とも高い実施率を実現できました。

**対面講義 : 94.7%      臨地実習 : 67.7%**

デルタ株、オミクロン株が流行する中、このような実施率を確保できたのは、学生の皆様が学内・学外でのルールを順守していただけたこと、そして何より実習受け入れ施設の皆様のお力添えの賜物です。学生の皆様には、引き続き感染防止対策へのご協力をお願いいたします。

雲一つない真っ青なオホーツクブルーが広がる晴れやかな春空の下、看護学部看護学科119名、看護学研究科看護学専攻修士課程9名を迎え、令和4年度日本赤十字北海道看護大学入学式が挙行されました。

河口学長は入学式の式辞として、これから歩む看護の学びの中で、コミュニケーションとしての日々のあいさつの大切さ、それにつづく心を載せた看護の判断・技術の探求について述べられました。また、大塚義治日本赤十字学園理事長（山本美紀学部長代読）からは、赤十字という素晴らしい組織の一員として本学の学業を通じ、多くのことを吸収し、国内・国際の舞台で活躍することの期待が述べられました。新入生の皆様は緊張した面持ちで、耳を傾けておりました。

新型コロナウイルス感染症対策として保護者の皆様には別会場でのご参加、さらにはオンラインにて動画の配信・視聴という形を取らせていただきました。ご参列いただいた皆様には多大なご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

新入生の皆様には本学の中で学びを深められるとともに、看護・医療の未来を歩む大切な友人を創り、大学生の時期にしかできない多くの経験を踏まえて、将来への道を拓いていただきたいと思います。



## 新入生歓迎のご挨拶

日本赤十字北海道看護大学

学 長 河 口 てる子

新入生の皆さん、入学してしばらく経ちましたが、コロナ禍での新生活いかがですか。教室では、ちょっと間を空けての座席ですが、対面での授業・演習ですから昼休みには会話が弾んでいるのではないのでしょうか。大学生活では、仲間助けられることが数多くあります。これから実習もありますし、積極的に会話しましょう。

さて、看護は、当分人口の高齢化が続くことから安定した職業とみられております。ぜひ手に職をと、お子さんに勧めた親御さんも多いかと思えます。河口は、四月十一日看護学入門の初回授業で「卒業までに看護の道に進む自己決定をして、看護への道を歩んでほしい」と投げかけました。本学への入学動機は、親に勧められてでも、なんとなくでもよいが卒業時点では、この道を進むことを自身で決意して進んでほしいと。看護はやりがいのある職業ですが、人と接する職業ですので、向き不向きがあります。中には、この道に進むのが辛い学生や多額の奨学金をもらっている故に迷う学生もおります。進むにしろ、退くにせよ、決定は本人自身が行って、結果に対しても責任を持ってください。十八歳で成人ですし、「親に言われたからこの大学に入った。こんなはずではなかった。どうしてくれる」と他人のせいにはしないでください。これから長い人生が待っています。自身の人生を自身の決定で歩んでください。

その間、本学の教職員一同、学生の皆さんへは、全力でサポートいたします。高いhumanityの理念と確かな実践から培われた「実践知」「技術」を持つ本学で、専門職として、看護への道を堂々と歩んで行ってほしいと願っています。

## 学年担任の紹介

### ◎ 第一学年 ◎

根本 昌宏 教授

第二十四期生の皆さま、ご入学おめでとうございます。大学時代の友人は、同じ道を歩む貴重な存在となり、一生のお付き合いになるでしょう。コロナ下でサークル活動がまだ難しい状況ですが、今できる大学生生活を堪能していただきたいと思えます。担任として、科目担当教員として、皆さまをサポートしていきます。いつでもお声がけください。



### ◎ 第二学年 ◎

山本 憲志 教授

大学に入学し、早いもので二年が過ぎました。コロナ禍で、クラブ活動や大学祭など、大学生としてのイベントが中止となりました。通常の大学生活とは異なりますが、二年生になり、後輩も出来ました。また、専門科目の講義が増えて大変だと思えます。一年後には病院実習が始まります。憧れの看護師・保健師・助産師になれるよう日々の努力を積み重ね、残り三年間の大学生活を悔いの無いように過ごして下さい。努力は運を支配する！



園田 裕子 准教授

ご入学おめでとうございます。大学生となった皆さんに求められることは、「自律」です。ですが、新たな生活に戸惑い、挫折そうになることもあるかも知れません。そんな時は一人で抱え込まず、いつでも担任に相談してください。私たちは皆さんをいつも見守っています。

種本 純一 講師

ご入学おめでとうございます！大学生としての四年間をどう過ごすかは皆さん次第です。どうか、十年先、二十年先も、かけがえのない学生時代だったと思えるような今をお過ごしください。私たち担任も精いっぱい皆さんを支えたいと思えます。

須田 彩佳 講師

一年生の皆さま、保護者の皆さま、ご入学おめでとうございます。四年間はあっという間に過ぎていきます。学業はもちろん、大学生活を存分に楽しみ、仲間とのかけがえのない日々を過ごしてくださいね。皆さまの学業と生活をサポートいたしますので、困ったときや悩みがあるときにはいつでも相談に来てください。

山口 佳子 准教授  
入学からマスクで顔も十分見えないまま一年が過ぎました。コロナ禍の中、不安で大変な一年だったと思います。そんな中でも学業に頑張っていた努力に敬意を評しております。

学業も二年目になり、いよいよ臨床デビューです。患者様との関わりは本当に、何にも変え難い体験です。知識と体力を十分に蓄えて参りましょう。楽しくいきましょう。全力でサポートします。

佐藤 智美 准教授  
一年生の皆さん、進級おめでとうございます。昨年に引き続き担任をいたします佐藤智美です。大学生として過ごした一年はいかがでしたか？今年、各専門領域の方法論や演習、そして病棟実習があり、より看護がイメージできるようなと思います。三年生での峠越え(実習)は、今年の頑張りにかかっている…とも思いますので、勉強も頑張りつつ、仲間を大切に、様々なことに興味や関心を向けながら過ごしていただきたいと思います。

尾栢 みどり 講師  
今年度より二年生の担任となりました尾栢(おがや)です。二年生は授業がより看護の専門性に特化した内容となります。座学で学んだことを演習で実践し、実習へとつなげていけるようにがんばってくださいね。私もこの大学の卒業生です。そ

して、科目は母性を担当しておりますので、助産師になりたい人もそうでない人も気軽に何でもご相談ください。早く皆様のことを知って、大学生を送る上での助けになればと思っております。

### 第三学年

東 めぐみ 教授  
三年生はこれまでの一年生から二年生での学びを踏まえて、臨床での実習が主になる学年です。看護の対象となる患者さんや利用者さんとの新たな出会いが多くある一年になると思います。また、臨床で働く医療者の方との出会いもあります。この

一年は、新たな発見、うれしいこと、戸惑うこと、困ることなど多々あると思います。そういった体験を皆さんと共有して、ともに成長できる一年になるようにしたいと思っております。

矢萩 悦啓 教授  
二年生では英語の授業がないので直接皆さんと接する機会が減りますが、困ったことがあれば(もちろんなくとも)遠慮なく研究室(509)に相談(や雑談)に来てください。厳しい実習を乗り越え、実りある一年になることを祈っております。

新谷 純代 准教授  
三年生のみなさんこんにちは。大学生生活も折り返し地点をむかえ、今年度はいよいよ本格的に領域別実習が開始しますね。実習を通して、さまざまな対象者との出会いがあり、大学生活の中でも最も多くの経験を積むことのできる一年だと思えます。みなさんの大学生活が有意義なものとなりますよう、我々も精一杯サポートしていききたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

吉谷 優子 講師  
三年生では、実習で沢山お会いできると思っています。楽しみにしています。就職準備、進路の検討、その他アルバイトや生活に関わることもご相談ください。私自身のこと・保護猫三匹飼っています。趣味はちょっとピアノを弾くくらい。よく

ラジオを聞いています。好きな食べ物はお幼い頃からずっとマトです。

### 第四学年

尾山 とし子 教授  
新型コロナウイルス感染症で大変な思いをした実習にも目的が付き、あつという間の「四年生！」と感じている人が多いのではないかと思います。光陰矢のごとし。これからの一日一日は、将来へ繋がる大切な毎日です。意地でもクラス全員が国家試験に合格できるよう励まし合い、気合を入れ頑張ってください！

前田 陽子 准教授  
四年生の皆さん、今年是国家試験がありますね。全員合格を目指して学年で力を合わせて乗り切りましょう。また、国家試験の学習と並行して実習、研究、就職活動がありますので健康管理を行い、計画的に進めていきましょう。私たち全員でサポートしていきますのでよろしくお願いたします。悩みや相談などありましたらいつでもいらして下さい。

村林 宏 准教授  
四年生の皆様、ご進級おめでとうございます。久しぶりに基礎医学特講で皆様にお会いできるかと思えます。ぜひとも受講してください。きっとお役に立てるはずですよ。あと一年

皆様には研究と国試に集中することを期待しますし、我々も最大限のサポートをしてゆきたいです。最後の学生生活となりますが最後に笑って卒業できるよう、一緒に頑張りましょう。

藤谷 未来 講師  
新四年生の皆様、並びにご家族の皆様、進級おめでとうございます。この一年は研究や国家試験の学習など、大変なこともあると思います。だからこそ、三年間学んできたことを振り返り、自分にとって看護とは何か考えてみてください。その上で、今の自分ができること、やるべきことを実行しましょう。残り一年、悔いのない学生生活を送ってください。



# 学年表彰

令和四年四月十一日（火）、前年度の成績優秀者に対する学年表彰が行われました。日々の学習の積み重ねにより得られた成果です。おめでとうございます。今後の更なる向上と全学生の目標となることを期待しております。



一年生 小野 丹楠

三年生 清水 妃菜

四年生 横岸澤 静奈

初めて看護を学んでいく中で、聞き馴染みのない言葉や分からない事がほとんどでしたが、友人に教えて貰ったり、お互いの解釈を討論したり、疑問に思った事を先生方に解説して頂き、少しずつ理解していく事ができました。看護の学びを深めていくうちに、他の様々な科目との繋がりが日常生活との繋がりが見えてきて、勉強が面白いと感じることが多くあったため楽しみながら学ぶことが出来ました。二年次以降では実習などが始まるため、実践に活かせるように理解した知識を定着させたり、一つひとつの学習がどんな時に何故必要になるのかを考えながら授業を受け、素敵な看護師になれるように日々努力していきたいです。また、一年次は友人に支えられてばかりだったため、これからは頼って貰える人間になれるように責任を持って生きていきたいです。



二年生を振り返ると、友人に勉強を教えてもらったり試験や実習に向けてペアの学生や同じ実習のメンバーと夜遅くまで技術の練習をしたりと二年生もたくさんの方に支えられた一年間でした。また、先生に質問をしに研究室に行くと言問に対して私が理解するまで説明してくださったり、時には話を聞いてくださったりと看護に対しての理解が深まるだけでなく自分自身の考え方の価値観が広がる一年でもありました。特待生と連絡を受け、現在もまだ実感はないですが日本赤十字北海道看護大学の学生、大人の一人として、これからも自覚ある行動をしていくながらも残り半分の学生生活を仲間と協力し時には楽しみながら過ごしていきたいと思っています。

三年生は実習がメインの学年です。現在は、実習に対してドキドキしながら準備を進めています。実習では一、二年生で学んだ知識や技術を統合させ、さらに看護観や自分自身の将来についても考える一年にしていきたいです。

実習が中心の三年次は、毎日がプレッシャーに押しつぶされるような不安の日々であり、自分は本当に看護師に向いているのだろうかと思いつつ悩んだ年だった。

そんな中で、励ましてくれた先生全員で受かりたいとお互いに支え合った仲間、なにより、毎日怒鳴っていたのに最後に「出会えてよかった」と涙を流してくれた患者さんや、手術後「あなたがいたから乗り越えられた」と手を握ってくれた患者さんなど、実習で出会った全ての人がいたからこそ、自分らしく実習を終えることができたと思う。いつか人生を振り返った時に、この一年は確実に辛かった出来事ベストテンに入ると思うが、同時に自分自身成長出来たベストテンにも入ると思える、とても充実した一年間だったと思う。国試を控えた今年はさらに大変な一年になるかもしれないが、来年の今頃「この大学で本当によかった！」と心から言えるよう、今までの経験をもとに、楽しむことを忘れず頑張りたい。